

令和2年8月26日



日本水大賞委員会

下記へ同時発表
国土交通記者会・国土交通建設専門紙記者会
経済産業記者会・文部科学記者会
厚生労働記者会・環境問題研究会
農政クラブ・農林記者会

青森県立名久井農業高等学校（まつはし ひろき松橋 大希、みやき たくま宮木 琢愛）
2020 ストックホルム青少年水大賞・国際大会でグランプリを受賞！

発表及び授賞式日時：令和2年8月25日14時～（ストックホルム現地時間）

受賞高校

青森県立名久井農業高等学校（Treasure Hunters）

☆発表テーマ

邦題 日本の伝統的な土壌固化技術「三和土」を使用した機能性水収集システムによる土壌流出の制御と食料生産の増加

英題 Controlling soil runoff and increasing food production by the functional water collection system using traditional Japanese soil solidification technology: “Ta-Ta-Ki”

☆発表者

生徒：松橋 大希、宮木 琢愛

指導教諭：すずき鈴木 とおる 亨

お問い合わせ先

日本水大賞委員会事務局
公益社団法人日本河川協会
電話番号 03-3238-9771(代)
担 当 : 塚 本

青森県立名久井農業高等学校
(Treasure Hunters) ^{まつはし ひろき}松橋 大希、^{みやき たくま}宮木 琢愛の2名が
2020ストックホルム青少年水大賞・国際大会でグランプリを受賞！

2020日本ストックホルム青少年水大賞を受賞し、日本代表となった2名が、WEBで開催された2020ストックホルム青少年水大賞の国際大会に参加しました。今年の国際大会は世界的なコロナ禍にも関わらず29ヶ国の代表者が参加し、事前に提出したレポートを基に8月4日と12日にオンラインによる研究内容の発表と質疑応答の審査が行われた結果、8月25日14時（現地時間）から行われた授賞式で、スウェーデン皇太子のヴィクトリア王女より日本代表のグランプリ獲得が発表されました。

なお、準グランプリはアメリカ代表でした。

ストックホルム青少年水大賞国際大会は、ストックホルム国際水協会(SIWI)の主催により、毎年「世界水週間」期間中にストックホルムで開催されます。ストックホルム水大賞は、別名「水のノーベル賞」と呼ばれ高い評価があり、ストックホルム青少年水大賞は高校生を対象としたこのジュニア版です。1997年から開催された同賞国際大会は今年で24回目となります。

日本代表は2002年から参加しており、2004年 沖縄県立宮古農林高等学校（当時）がグランプリ、2006年 京都府立桂高等学校が準グランプリ、2018年 青森県立名久井農業高等学校が準グランプリを受賞しています。今回のグランプリは一昨年の雪辱を果たした形となります。

〔参考〕 研究概要

深刻な食糧危機は、特に乾季の間、十分な農業用水資源の不足により、世界中の乾燥地域および半乾燥地域に存在しています。この研究では、相撲の土俵にも使用されている日本の伝統的な土壌固化技術である「三和土（たたき）」土壌を使用することにより、土壌流出を制御し、環境への影響が少なく、低コストで食料生産を増やすことができる新しい多機能水収集システムを開発しました。

たたき土壌は、堆肥を含む土壌と砂を消石灰で固めたもので、次のようなメリットがあります。(1) 食料生産に貢献する期待が持たれる。(2) 貧弱な土壌への栄養素の供給。(3) 降雨による土壌流出の抑制。 高い操作性を備えたこの安価な凝固技術は、食料生産への需要が高い分野に加えて、世界中の環境問題の効果的な解決策になる可能性があります。さらに、土砂の蓄積とその後の洪水につながる可能性がある河川や池への土壌流出を抑制するための単純な堤防としても使用できます。

多機能水収集システム



WEB開催における発表の様子



授賞発表の瞬間

